



薫焼きカツオタタキを購入する来場者

## 第19回土佐さがのもどりカツオ祭

10月26日(土)、黒潮一番館で「第19回土佐さがのもどりカツオ祭」が開催されました。

会場では、300食限定の「カツオ御膳」や、薫焼きカツオタタキ、イヨめしなどが販売され、新鮮なカツオを求めて開始前から長蛇の列ができていました。また、広場では、子どもたちを対象にしたカツオの一本釣りゲームや幡多舞人によるよさこい踊り、ラムネ・ビールの早飲み大会などのイベントも行われました。

愛媛県から家族で来場した守谷妙<sup>もりや たえ</sup>さんは、「カツオ御膳を食べた。ハランボもついていてボリュームもあって美味しかった。カツオがおいしくて、来てよかった。また来たい」と話しました。



展示作品を見る来場者

## 第62回大方の秋まつり・第12回黒潮町まるごと産業祭

「第62回大方の秋まつり」が11月9日(土)・10日(日)に、また、「第12回黒潮町まるごと産業祭」が9日(土)にふるさと総合センター周辺で開催されました。

「秋まつり」では、町内の保育所・小・中学校の図画や書などの展示や、一般の方による陶器や絵画、生け花などの出展がありました。

「まるごと産業祭」では、多くの出店やブースが並び、ステージなどではダンスや演奏、佐賀中学校3年生によるカツオマイスターの実技披露などが行われ、多くの来場者が楽しみました。

実技披露を行った生徒は、「完璧ではなかったけど、友人と協力してさばけて、みんなに食べてもらえて良かった」と話しました。



イスに合わせ作られた砂像と佐拔さん

## イスに座って海を見る日④

入野の浜でNPO砂浜美術館主催の「イスに座って海を見る日④」が開催されました。同イベントは、来場者が好きなイスを砂浜に持ってきて、イスに座って海を見るというもの。悪天候のため1日延期し、11月4日(月)に開催された同イベントには、町内外から53組が参加しました。

愛媛県から来場し、実際に乗っている車の座席を持ってきたという佐拔慎一<sup>さぬき しんいち</sup>さんは、「普段見ている浜とは一段と違った雰囲気。改めて景色を堪能するというのも良いものだなと思った」と話しました。



津波の速さ体験をする生徒・先生ら

## 大方高校防災デー

11月14日(木)、大方高校で防災デーが行われました。

同イベントでは、最初に芝集会所および入野駅からそれぞれ避難訓練を行った後、体育館でのテント設営や、各班に用意された、段ボールベッドの作成やトイレの組み立てなどのさまざまなミッションが行われました。また、津波の速さ体験として、時速30~40kmのスピードで走るトラックを津波に見立てて逃げる訓練も行われました。

同校1年生の川野愛莉<sup>あいら</sup>さんは、「みんなと協力してできて良かったし、勉強になった。津波の速さ体験は怖かった。でも、実際の津波はもっと容赦がないだろうし、高い所に上がるのが一番だと思う。今後何かあった時はみんなと最後まで協力できれば」と話しました。